

令和5年度 埼玉県緑の少年団交流会「埼玉の自然クイズ」

第1問：①ケヤキ

(落葉樹で春に新しい葉とともに、うすい黄緑色の小さな花を開き、公園や街路樹にもよく使われています。昭和41年9月5日に「県の木」に指定されました。

②のイチヨウは、東京都、神奈川県、大阪府の木にもなっています。また、③のクスノキは兵庫県、佐賀県、熊本県、鹿児島県の木に指定されています。)

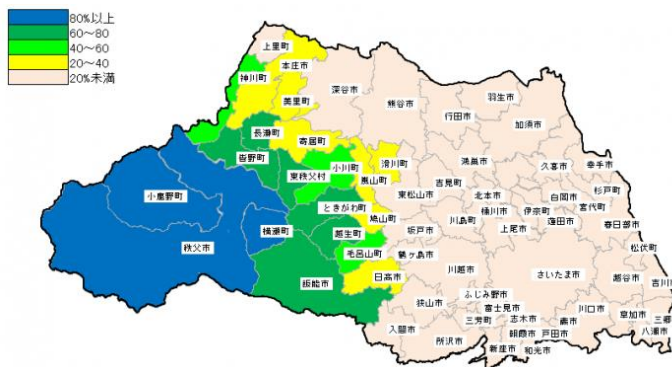


出典：「県のシンボル」(埼玉県県民広聴課)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0314/saitama-profile/saitama-symbol.html>

第2問：②3分の1 (32%)

(大まかに JR八高線より西側が森林と捉えることができます。ちなみに日本では約3分の2 (67%) が森林です。)



出典：「埼玉の森林」(埼玉県森づくり課)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0905/sinrintoringyo.html>

第3問：②荒川 (2537mで東京スカイツリー4つ分の長さになります。)

川幅 日本一

鴻巣市と吉見町付近の荒川の幅は日本一です。
川幅を広く、横堤を設置することで、洪水の一部を一時的に滞留させ、下流での被害を最小限に防ぎます。
また、横堤は堤防を流れから遠ざけることで保護する役割も果たします。

※ 洪水時(平成19年9月7日台風9号による洪水の様子)

川幅 (堤防間の距離)
荒川(鴻巣市～吉見町間)
2,537m 東京スカイツリー4つ分の長さ

※ 平常時

日本一

コバトン

出典：「埼玉県の河川」(埼玉県河川砂防課)

https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/64746/r05_saitamakennnokasenn01.pdf

第4問：②およそ40年～60年（成長にかかる年数は木の種類によって異なります。育てる過程において、下刈りや除伐、間伐などといった作業が必要となります。）



出典：「平成26年度森林・林業白書」（林野庁）

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/26hakusyo/pdf/5hon1-1.pdf>

第5問：①えのきたけ（「えのきたけ」は1年で1,512トン、2番目に多いのは「しいたけ」で673トン、3番目は「なめこ」で303トンです。）

参考：「秋・冬の旬野菜 エノキタケ（榎茸）」（JAグループ）

<https://life.ja-group.jp/food/shun/detail?id=60>

第6問：③木材（木材は、熱伝導率（熱の伝わり方）が鉄より低く、熱が伝わりにくいです。）

第7問：③66年ぶり（埼玉県での開催は2回目で、前回は昭和34年（1959年）に寄居町の金尾山（かなおやま）で開催されました。ちなみに①の12年ぶりは、平成25年に「全国育樹祭」が埼玉県で行われた年になります。）



昭和天皇・香淳皇后両陛下によるヒノキのお手植え

出典：「前回の埼玉大会」（第75回全国植樹祭ホームページ）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/gaiyo/zenkai.html>



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

第8問：②人・森・川 つなげ未来へ 彩の国（全国から大会テーマとシンボルマークを募集し、審査により最優秀賞に選ばれた作品です。）

<「大会テーマ」と「シンボルマーク」の詳細>

「大会テーマ」には、山村や都市など埼玉県に暮らす「人」が、植樹によって「森」を育み、森林から流れ出る「川」によって人々の生活が潤される営みを「未来」の子供たちにつないでいこうという強い思いが込められています。大会テーマは全国から2,000点の作品の応募がありました。

「シンボルマーク」は、「コバトン」と「さいたまっち」、「森」「川」とともに、彩の国の彩りを表す、未来へつながる架け橋をイメージした「虹」が盛り込まれ、大会テーマを表しています。シンボルマークは全国から664点の作品の応募がありました。

第75回全国植樹祭ホームページ <https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/index.html>